

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 1 日～
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	介護職員 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	5	0	0	0	8

前回の改善計画	初期支援のみにかかわらず、常に必要な支援や配慮を職員で話し合い、見極めることができる力を身に着ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝・夕のミーティングや申し送りのみならず、問題が発生した時、気づいたときになるべく早くその場で話し合い、その都度結果を出し共有、対応できるよう心がけている。そのことがご利用者の不安軽減にもつながると感じる。

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6	2	0	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	6	0	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1	5	2	0	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	6	1	0	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎日の申し送りや申し送りノートの活用などで情報共有、職員間の話し合いができている。送迎時などでご家族とお会いする際にはコミュニケーションをとり自宅での様子などうかがっている。職員各々声かけや気遣いができていると思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自分からはご家族とは踏み込んだ関係作りができていない。直接ご家族から聞いていないこともあるので、関係作りの配慮がなされているかは評価しにくい。ご家族のニーズまではわからないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員一人ひとりが遠慮せずに、気づいたことをもっと発信し、話し合い、その結果をご利用者やご家族のニーズの理解、支援へつなげていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令 6 年 12 月 1 日～
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	介護職員 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	7	0	0	0	8

前回の改善計画	人間関係を構築することで、ご利用者の生きがいややりたいことを理解し、その実現に向けて努力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者とのコミュニケーションを通じて、やりたいことややってほしいことを聞きながら、できる範囲ではあるがその要望に応えられていると思う。一人ひとりに合わせた適切な対応ができるよう心がけた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	6	2	0	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	7	1	0	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	7	1	0	0	8
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	5	1	0	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービスの提供内容（訪問、入浴、外出、活動など）について、その方に合ったサービスを職員で話し合い提供できていると思う。普段からの関りの中で出た問題点やそれに対する対応策、解決策をその都度話し合い実践できるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
何ができて何ができないか、できていること、できていないこと、またその対応にご利用者がどのように感じているか、満足していただけているか、等確認することが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
「～したい」で終わらせずに、しっかりと対応を継続し、結果を検討した上で次のニーズに応じていけるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月1日～
3. 日常生活の支援	メンバー	介護職員8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	7	0	0	1	8

前回の改善計画	ご利用者の暮らしぶりや生活、価値観などに興味を持ち、生活者としての全体像を理解した上での生活支援を心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果	普段の会話の中から、昔のことや暮らしぶりを聞き出せるよう工夫して接している。職員体制の関係などで、以前よりご利用者との対話、関わりを持つことができ、何気ない会話の中に発見がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	1	7	0	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	4	0	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	8	0	0	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	5	0	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	7	0	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個々の心身状態（体調・食事摂取量・排便の有無・疼痛の有無等）に合わせた対応（食事の形態、排便チェック）ができている。こちらから寄り添うこと、気づきでわかることも多く、本人やご家族とも共有することができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の生活歴等10個以上となると難しい。知りたいことも多いので、もっと情報収集が必要だと思っている。普段と違うことに気づいても、ほんの少しの変化だと、見逃してしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
話しやすい環境作り、信頼関係の構築に努め、さらに一人ひとりとの対話の時間、関わる時間を増やしその人自身を知る機会とする。	

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日		令和6年12月1日～			
4. 地域での暮らしの支援		メンバー		介護職員8名			

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	3	4	0	0	8

前回の改善計画	ご家族や地域の方々との日常会話からもヒントを探り、何が足りており何が不足しているのかを話し合いの着目点に持って行くようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の方々との触れ合いの時間は少なく、地域資源についての情報交換までは難しかった。ご家族からも、日常の挨拶や体調伺いがほとんどで、踏み込んだ話し合いはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	5	3	0	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	8	0	0	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	2	0	0	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	4	2	1	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員によりご家族との会話の中身は違って来るが、そこから得られるものもあり、いろいろな情報を共有できていると思う。ご家族とは送迎などの短い時間でも、できるだけコミュニケーションを図るよう全員が意識している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること いつも課題となるが地域資源に対しての理解が乏しいと感じる。住民の方々、近隣の方々とも接点が少なく情報が得られにくい。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
会話の「入り口」がそれぞれ違う場合もあるが、職員一人ひとりが、適度な距離感を取りながらも、もう一歩踏み込むくらいの気持ちでコミュニケーションを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月1日～
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	介護職員8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	5	2	0	1	8

前回の改善計画	ご本人の意見を尊重し、地域でのサービスも取り入れながら、小規模多機能の強みを生かしたサービスも積極的に提案する。
前回の改善計画に対する取組み結果	泊まりや訪問、通いサービスも、調整をさせていただいた上ではあるが、様々な形で提供できることをお伝えし、ご本人やご家族の希望に沿い柔軟に対応することができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	2	2	0	4	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	0	6	1	0	1	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	6	0	0	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	6	0	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者のニーズを知ろうと努め、そのニーズ、その日の状態などに合わせた対応を見出し、また、体調など、変化に気づいたときは看護師を中心に適切なケアができるよう心がけた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源についての知識が乏しく、アドバイスやサービス利用の提案までは至らない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域資源を学ぶとともに、支援の幅を広げるため、自事業所の「訪問サービス」をより活用することを検討する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月1日～
6. 連携・協働	メンバー	介護職8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	6	1	0	0	8

前回の改善計画	①ご利用者の健康や生活を、チームの一員としてサポートすることを意識する。 ②包括ケア会議や町主催の研修、セミナー等に積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	①健康観察、ご家族からの聞き取りなどで体調や症状を把握し、適切に対応できるよう努めた。 ②研修等に参加した職員と、できなかった職員がいた。できなかった職員は参加した研修の内容資料等を回覧している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	3	0	2	3	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	2	3	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	4	1	3	0	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	1	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
再開できた行事もあり、以前のように事業所以外の方々との交流の機会を持つことができた。職員も意欲的に参加し、地域貢献にもなったと実感している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修に関しては、全員がまんべんなく参加するのは難しい。地域に出向くこともなかなか機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者を支えるチームの一員であることを意識することはできているが、「指示待ち」で構えていることが多いので、自ら積極的に動くことを意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月1日～
------------------	-----	------------

7. 運営	メンバー	介護職員8名
-------	------	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	4	4	0	0	8

前回の改善計画	①地域と連携し、貢献する姿勢を示すことで信頼関係を築き、協力してサービスを提供することでサービスの質の向上につなげる。 ②地域活動に参加できるように取り組み、地域の方々と意見交換をし、地域の高齢者・介護の状況を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域活動には数えるくらいしか参加できなかった。また計画することもできなかった。事業所内での活動に関しては、数回ではあったが地域交流を持つことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	4	2	1	0	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6	0	0	1	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	6	1	0	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	4	2	1	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員としての自分の意見は発言でき、業務に反映されている。ご家族からの苦情はほとんどないが、意見や要望があれば職員間で話し合い、対応につなげている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域住民との関りがまだ足りていない。地域の方々が、事業所をどのように見ているか、どのように知られているかを知る機会があれば良い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
田の浜地区、船越地区、長林地区など、地区ごとで交流を図り、地域の状況把握に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月1日～
8. 質を向上するための取組み	メンバー	介護職員8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	5	1	1	0	8

前回の改善計画	①職員の個々の経験を尊重し、相互理解の意識を高めることで、職場での実践力につなげる。 ②町内だけでなく県内の各種研修会に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	① 職員の個々の得意・不得意を把握し、役割分担・指導に努めている。 ② 職員により、研修に参加した職員と参加できなかった職員がいた。自主的な参加もできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	5	1	1	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3	0	0	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	2	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	0	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること リスクマネジメントに関して、事故につながる恐れがあることが起きた時、報告書を作成し確認することで同じことを繰り返さないよう留意できている。 研修に関して、参加できずとも、自分で学ぶ意識を持ち仕事に生かしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員により、参加できた職員と参加できていない職員がいた。日程の調整などの理由から、研修に参加したいという意欲はあるが、実現に至らない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日常の業務の中で、「このままでいい」で終わらせずに、研修へ参加することで意欲の向上を目指し、個々のスキルアップにつなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月1日～
9. 人権・プライバシー	メンバー	介護職員8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	5	2	0	0	8

前回の改善計画	①専門職としての意識を高め、気づきの部分を増やしていく。 ②ご利用者の気持ちを一番に尊重し、否定し、制限しないようにする。 ③周囲の雰囲気合った適切な言葉、声色を工夫し接する。
前回の改善計画に対する取組み結果	① 専門職としての意識を持ち、職員へも伝えている。 ② 小さな変化にも気づき、気持ちを尊重するよう配慮して接した。 ③ 不快な思いをさせないよう、意識し言葉使いにも気を付けて対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	わからない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	1	0	0	0	8
②	虐待は行われていない	7	1	0	0	0	8
③	プライバシーが守られている	1	7	0	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	0	0	5	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	4	0	0	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待はない。ご利用者が安心できるよう、声かけの際の言葉使いや声のトーンなど気を付けて接した。声かけの最中にも、どのような声かけが適切か判断しながらおこなっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見人制度について理解が不十分である。トイレ介助の際や夜勤の見守りの際など、安全確認のため扉を少し開けている時がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
客観的に自分の行動、言動を振り返り、適切な対応ができているか判断できる力を身に着ける。より一層、虐待やパワーハラスメント等の研修に努める。	

